

TMS

テアトル・モリエール・ソルボンヌ

上演

日本初上陸

モリエール喜劇

スガナレル あるいは疑り深い亭主

Molière, *Sganarelle ou le Cocu imaginaire*
フランス語上演 (字幕なし・プログラムに要約掲載)

日 時

2026年3月7日(土)

開場 14:00 開演 14:30 上演時間 60分予定

会 場

大妻講堂 (大妻女子大学千代田キャンパス)

チケット
(Peatix)

一般 2,000円 学生 1,000円

(<https://sganarelle2025.peatix.com>)



- 【主催】 日本フランス語フランス文学会関東支部会 × 大妻女子大学 草稿・テキスト研究所 (共催)
(代表: 日本フランス語フランス文学会2025年度関東支部大会実行委員長・大妻女子大学 榎本恵子)
- 【後援】 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ、千代田区
公益財団法人日仏会館、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
- 【協力】 Sorbonne Université Université Sorbonne club alumni de Japon



● 当日配布のプログラムに本作品の要約を載せますので、フランス語が分からなくてもお楽しみいただけます。

【お問い合わせ先】

〒102-8357 東京都千代田区三番町12 大妻女子大学 草稿・テキスト研究所

【URL】 <https://www.lit.otsuma.ac.jp/mstxt/mstxt> 【E-Mail】 mstxt-studies@ml.otsuma.ac.jp

※ メールでの参加お申し込みは受け付けておりません。



テアトル・モリエール・ソルボンヌ上演：モリエール喜劇 『スガナレル あるいは疑り深い亭主』

Molière, *Sganarelle ou le Cocu imaginaire*

ストーリー

舞台はパリのにぎやかな広場。

恋人同士のレリーとセリー、通行人のスガナレルと妻との間に早とちりと誤解の大騒動が勃発する。

気絶したセリーを助けただけのスガナレルは妻に浮気と誤解され、レリーからは「セリーの新しい結婚相手」と勘違いされてしまう。

一方のセリーも、スガナレルに「レリーはうちの女房と浮気中だ」と吹き込まれ、怒り心頭！

嫉妬と誤解が怒涛のようにふくれ上がり、恋人も夫婦も大混乱。

ついには破局寸前となるセリーとレリーだが、ひとりの女中の機転によって次々と真実が明らかになり、絡まった糸はほぐれていく。

はたして恋人たちは結ばれるのか？夫婦の仲は？

人間の可笑しさが炸裂する、モリエールの軽快な恋のパニック・コメディ！

※日本語訳：モリエール『スガナレル あるいはコキュにされたと思った男』秋山伸子訳、『モリエール全集』第2巻、臨川書店、2000年

Synopsis

Persuadé que sa femme a pris l'innocent Lélie pour «mignon de couchette», Sganarelle s'empêtre dans un quiproquo qui compromet son ménage... et les amours du jeune homme.

Il aura suffi d'une boîte à portrait, tombée accidentellement du poignet de la belle Célie, pour que chacun s' imagine porter les «cornes».

Mais au moment où les transports jaloux des uns et des autres atteignent leur paroxysme, la sagacité d'une veuve d'expérience viendra dénouer tous ces malentendus et montrer qu'à trop craindre d'être trompé, on se trompe souvent soi-même. Synopsis par Georges Forestier (†).

テアトル・モリエール・ソルボンヌ Théâtre Molière Sorbonne (TMS)

TMSは2017年、ソルボンヌ大学を母体とし、同大学名誉教授ジョルジュ・フォレストイエによって設立。文献学的分析のみならず舞台上での歴史的再現を通じてこそ17世紀の文化的世界観を理解できるという問題意識のもと発足しました。17世紀フランス古典演劇の朗唱法・演技法を現代に復元し、学術的・実践的に検証する「実験的考古学」を特色とする劇団です。

既に『スガナレル』（2019、2025）の他に、モリエールの『病は気から』（2022）、『才女気取り』（2024）の上演が試みられ、特にモンタンシエ劇場（ヴェルサイユ）では高い評価を得ています。

TMSの劇は、日本における宮廷風衣装＝歴史的忠実性という誤解を正してくれるでしょう！



Fondé en 2017 à Sorbonne Université par le feu Georges Forestier, le Théâtre Molière Sorbonne (TMS) se consacre à la reconstitution des techniques de jeu et de déclamation du théâtre classique français du XVII^e siècle. Sa démarche d'«archéologie expérimentale» associe recherche universitaire et pratique scénique. Outre *Sganarelle* (2019 et 2025), la troupe a déjà présenté *Le Malade imaginaire* (2022) et *Les Précieuses ridicules* (2024), notamment au Théâtre Montansier de Versailles, où elle a reçu une reconnaissance critique significative.

● 日 時：2026年3月7日(土)

開場14:00 開演14:30 上演時間60分予定

● 会 場：大妻講堂（大妻女子大学千代田キャンパス）

アクセス

■ JR総武線「市ヶ谷駅」下車 徒歩10分

■ 都営新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線

「市ヶ谷駅」下車（A3出口）徒歩7分

■ 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」下車（5番出口）徒歩5分

■ 東京メトロ東西線「九段下駅」下車（2番出口）徒歩12分



地図QR

大妻女子大学 〒102-8357 東京都千代田区三番町12

